



Annual Report

2019

musubie

こども食堂の
支援を通じて、
誰も取りこぼさない
社会をつくる。



NPO法人 全国こども食堂支援センター

むすびえ

2019年度活動報告書





理事長からのメッセージ

Message from Makoto Yuasa

いつもありがとうございます。

2018年12月にNPO法人認証を得た私たちむすびえにとって、2019年度は実質的な初めての事業年度となりました。駆け出しで、まだ十分な実績もないむすびえが、それでも多くのプロジェクトを実施できたのは、ひとえに、こども食堂の運営者のみなさんの理解、こども食堂に関心を寄せてくださるみなさんのご協力・ご支援によるものでした。深く感謝申し上げます。

2019年は、全国各地に出向いて、地域でがんばるこども食堂のみなさんと意見交換を積み重ねながら、各地の地域ネットワーク団体の立ち上げと運営のお手伝いをしました。また、地域交流拠点としてのこども食堂の理解を広げるために「食べる・遊ぶ・笑う こども食堂」の企画を実施し、その実態を伝えるマンガを制作し、その価値を測定する指標作りに着手しました。こども食堂の安心・安全を高めるための助成制度も開始し、2018年に続き全国箇所数調査を実施するとともに、小学校区に占めるこども食堂の比率（充足率、校区実施率）を算定しました。年度末には、今後3年を見通す中期計画の中間とりまとめを行い、また全国の地域ネットワーク団体のみなさんが一堂に会する全国交流会を開催したあたりで……コロナが発生しました。

3月2日の全国一斉休校実施直後の3月5日、私たちは「新型コロナウイルス対策緊急プロジェクト」を立ち上げ、年度末を迎えることになりました。正直あのときは、コロナ禍があらゆる意味でこども食堂とむすびえの状況を変えてしまうとは思っていませんでした。

本報告書は、発足したばかりの私たちがコロナ禍に見舞われる直前までの記録となります。よちよち歩きの私たちがみなさんに支えられて何とか歩き出したその姿をご笑覧いただければ幸いです。

NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長

湯浅 誠

社会活動家、東京大学 特任教授



社会とこども食堂の位置付け

Approach

2019年、こども食堂は全国で3,718箇所に達しました。1年間で1,400箇所、前年比1.6倍増という、大変な増え方でした。各県における充足率（小学校数に対するこども食堂数の比率）を見ると、1位沖縄県、2位滋賀県、3位東京都、4位鳥取県と、大都市部に限定されない全国的な広がりを見せていることが明らかになりました。また、2018年には充足率5%未満の県が10県ありましたが、2019年にはすべての県で5%を上回りました。こども食堂のインフラ感が着実に増した一年だったと言えます。

国が政策化して旗振りしているわけでもない民間独自の活動、しかも非営利でお金を稼げるわけでもない活動がここまで広がったのは、時代に棹差し、人々のニーズに答えているからという以外に考えられません。こども食堂は、地域や社会に貢献したいと考える人々の気持ちに形を与えるための絶好の器でした。

では、その人々の気持ちとは何か。それは、子どもが減り続ける中で子どもたちの笑顔を見たいという気持ち、仕事と育児に追われるお母さんたちを手助けしたいという気持ち、商店街がシャッター通り化し地域が寂しくなる中で、人々のにぎわう声を聞きたいという気持ち、誰ともつながれず、寂しい思いをしている子がいるのなら、その子とつながってあげたいという気持ちではないかと思います。そうした気持ちをどうしたら形にできるかと人々が思案したとき、そこに差し出されたのがこども食堂という器でした。これならできると。

その気持ちをもつ人たちが全国津々浦々に存在するのは、これらの現象が日本中で見られるからです。少子化・高齢化・人口減少・過疎化・単身化・無縁化といった社会課題は、人々が目にする地域の光景を実際に変え、人々にそうした気持ちを呼び起こしました。

これらの社会課題は、気分を沈ませるものです。しかし気持ちに形を与えた人々の行動は、私たちに希望を与えてくれるものでもあります。よく「地域に人材はいない」と言われてきました。違います。います。そうでなければ、全国でこれだけの人たちが同時多発的にこども食堂を立ち上げたことを説明できない。よく「今という時代はみんな自分のことばかり」と言われます。違います。子どものため、地域のためが自分のためでもあると考えるこれだけの人たちがいます。

こども食堂は「課題先進国」と言われるこの国で、市井の人々がそれら諸課題に対峙するために編み出した対応策・解決策です。市井の人々が現実を選び取っているというこの事実が、それが「ふつうの人々」の手に届く、真に普及しうる解決策であることを証明しています。偉い人・賢い人がどこか遠くで作り出した解決策ではなく、人々から生まれ、人々に受け入れられ、人々の間に広まっている解決策であるという点に、私たちはこども食堂の魅力と潜在力、そして強さを見出しています。

私たちの取り組み

Approach

2019年、むすびえは調査・研究事業となる箇所数調査や多くの企業との連携など、数多くのプロジェクトを通して子ども食堂をサポートしてまいりました。

2019

4月

5月

6月

7月

8月

9月

OKURU×むすびえ 売上の一部が子ども食堂への支援になる「お母さんを応援したい」キャンペーン開始



むすびえ×クックパッドニュース 子ども食堂の連載企画をスタート～「子ども食堂レシピ」を閲覧できるキッチンも開設、持続可能な社会へ～



「増え続ける子ども食堂って、どんなところ？」最新の箇所数調査から見えてきたことー」セミナー開催



カゴメ×むすびえ Twitterの投稿1件につき1本の野菜飲料を子ども食堂へ寄付するSNS企画開始



MESSAGE

いつもは50人ぐらいが集まる子ども食堂ですが、当日は100名以上の大人・2歳～15歳の子どもが大集合！芸人さん・東京おもちゃ美術館の皆さんとの遊びタイムは大盛況で、普段捨ててしまうような短くなった鉛筆を使用した遊びや、木のおもちゃを積み上げる遊びで盛り上がり時間が足りないほどでした。普段暗い顔をしている子も、この日は楽しそうに笑っていました。みんなを元気にする素晴らしい企画で、いつもの子ども食堂で、いつもよりみんなと一緒に盛りがれて、貴重な機会でした。

東京・ふくろうはうす 細田明菜



子ども食堂の数が全国最下位の秋田県。子ども食堂＝困窮というイメージが強いのですが、そんなことはお構いなし、集う子どもたちが安心して、お腹いっぱい食べて楽しい居場所であればいいのです。あきたでの開催は予定人数を上回り、入場をお断りする程でした。少なくとも来場者や見学者に子ども食堂のあるべき姿をお見せすることができたイベントでした。

秋田たすけあいネットあゆむ 保坂ひろみ



地域ネットワーク団体と共同で全国の子ども食堂数を発表



東京おもちゃ美術館、吉本興業との協働事業「食べる・遊ぶ・笑う 子ども食堂」全国47都道府県での開催を発表(2019年度、山口県、鹿児島県、秋田県、茨城県、東京都、三重県、香川県にて開催)



むすびえ×チャイルドライン支援センター「夏休み明けがゆううつな子どもに届けたい～微力でも、できることを～」共同プロジェクト実施



むすびえ×ユニリーバ すべての人びとのすこやかな暮らしを願う「ジフ」、「ドメスト」子ども食堂デザインペーパーの購入が10円の寄付に！



【平成31年度東京ウィメンズプラザフォーラム】こども食堂って実際どんなところなの!? 映画「こどもしょくどう」上映会+シンポジウム開催



こども食堂漫画化プロジェクト「ここで、のできごと」連載スタート

むすびえ感謝祭開催



むすびえ×バリューブックス「さんた book project」を通じて、こども食堂に本を贈ろう！

しまうまプリント×むすびえ 写真プリントをこども食堂へ送る「しまうまサタ」SNS企画開始



こどもを守る。みんなを守る。「こども食堂防災マニュアル」作成

2020

10月

11月

12月

1月

2月

3月



【遊んで笑って、つながる地域。47都道府県のこども食堂に新たな風をおくりたい「食べる・遊ぶ・笑う こども食堂」を中部エリアから全国へ！】クラウドファンディングスタート

交流拠点としてこども食堂を考えるトークイベント「こども食堂、おもちゃ美術館、Jリーグのキーマンと考える「地域を元気にする」ってどういうこと？」開催

新型コロナウイルス対策緊急プロジェクト！

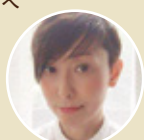
こども食堂に通う全ての子どもに「食」を届けたい。
こども食堂への食品等提供を呼びかけます！

新型コロナウイルス対策緊急プロジェクト！こども食堂に通う全ての子どもに「食」を届けたい。こども食堂への食品等提供を呼びかけをはじめる。

MESSAGE

全国交流会参加の醍醐味は、何と言っても全国で走り続けているこども食堂中間支援組織の方々と再会と取り組みを生で伺えること。今回は特に、災害時の中間支援組織の役割・働きを知ることができ、東日本大震災被災県である私は大きな収穫を得た。このような場が毎年あることは、日々の励みとなると同時に、この一年間の振り返りそして今後の展開への礎となっている。また来年、さらに進化・成長し、全国のみなさまとお会いしたい。

せんだいこども食堂 門間尚子



こども食堂を支える地域ネットワークは、こども食堂の課題解決のために日々奔走していますが、一筋縄ではいかないものも少なくありません。全国交流会は、各地域で活動されている方々が、このような解決困難な課題を持ち寄り、意見交換をしながら解決のヒントを得ることができる大切な場所です。その場を設定していただいている「むすびえ」は、地域に根差した取り組みをしている地域ネットワークの活動を支えている欠かすことが出来ない数少ない団体です。

北九州市 子ども家庭局 子ども食堂担当係長 長迫和宏



応援してくださっている みなさま

Approach

むすびえの運営は、ご寄付によって支えられています。
また、多岐にわたるプロジェクトには、プロボノや
ボランティアが参画してくださっています。
寄付者やボランティアは「こども食堂の支援を通じて、
誰も取りこぼさない社会をつくる」メンバーです。

むすびえのPRビデオ制作という
プロボノ参加がきっかけで、こども
食堂やむすびえの活動や課題、
意義や魅力を知りました。そして
プロボノ終了後も関わりを続けた
く寄付を続けています。ほんとに
微力ですが応援しています！



小木 真 様

ソシオークグループは子ども達が安
心してのびのびと過ごせる居場所
や、子ども達やそのご家族が笑顔で
過ごせる温かい時間を、私たちの事
業の原点である食を通じてサポート
し、健やかな成長と明るい未来が広
がることを願っています。



ソシオークグループ 代表
大隈 太嘉志 様

古本寄付のチャリボンへ本を寄付
した際の寄付先を選びました。こ
ども食堂の運営を支援する活動に
共感したからです。こども食堂の
存在が地域の人々の支えになり、
こどもたちの明るい未来につなが
ることを願っています。



木村 ゆかり 様



2019年度 活動計算書

2019年4月1日から 2020年3月31日まで

05

musubie

Annual Report 2019

財務報告

Financial report

2019年度 貸借対照表

2019年4月1日から 2020年3月31日まで

科目	金額	小計・合計
A 経常収益		
1 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費	75,000 0	75,000
2 受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益	28,212,638 0	28,212,638
3 受取助成金等 受取補助金	4,735,000	4,735,000
4 事業収益		6,231,226
① 運営者に対する運営基盤強化支援事業	0	
② 中間支援団体に対するネットワーク構築事業	600,000	
③ 運営者および支援者に対する研修事業	0	
④ 食堂支援者に対するコンサルティング事業	1,773,226	
⑤ 普及啓発事業	3,858,000	67
⑥ 調査研究事業	0	
5 その他収益 受取利息	67	
経常収益計		39,253,931
B 経常費用		
1 事業費		3,180,080
① 人件費 給料手当 法定福利費	3,170,000 10,080	
② その他経費 会議費 旅費交通費 印刷製本費 通信運搬費 消耗品費 保険料 謝礼金 支払寄付金 業務委託費 システム関連費 広報費 雑費 諸会費 支払手数料	75,022 3,540,530 718,473 192,496 79,849 1,500 831,380 570,000 6,900,310 682,000 593,540 337,017 30,000 729,513	15,281,630
事業費計		18,461,710
2 管理費		3,376,237
① 人件費 役員報酬 給料手当 法定福利費	2,400,000 2,020,000 91,860	
② その他経費 消耗品費 通信運搬費 地代家賃 旅費交通費 会議費 印刷製本費 謝礼金 租税公課 業務委託費 システム関連費 諸会費 研修費 支払手数料 雑費	105,795 37,150 130,800 118,413 47,350 20,260 10,000 3,402 1,446,500 1,268,860 13,200 6,000 117,012 51,495	
管理費計		7,888,097
経常費用計		26,349,807
当期経常増減額 [A]－[B] ...①		12,904,124
C 経常外収益		
固定資産売却益 過年度損益修正益	0 0	
経常外収益計		0
D 経常外費用		
固定資産売却損 災害損失 過年度損益修正損	0 0 0	
経常外費用計		0
当期経常外増減額 [C]－[D] ...②		0
税引前当期正味財産増減額 ①+② ...③		12,904,124
法人税、住民税及び事業税 ...④		0
前期繰越正味財産額 ...⑤		2,164,811
次期繰越正味財産額 ③－④+⑤		15,068,935

科目	金額	小計・合計
A 資産の部		
1 流動資産 現金預金 未収金 前払費用	10,032,947 1,670,000 191,400	
流動資産合計 ...①		11,894,347
2 固定資産 (1) 有形固定資産 (2) 無形固定資産 (3) 投資その他の資産 食べる・遊ぶ・笑う 子ども食堂基金特定資産 さくらプロジェクト基金特定資産	0 0 6,500,000 2,000,000	0 0 8,500,000
固定資産合計 ...②		8,500,000
[A] 資産合計 ①+②		20,394,347
B-1 負債の部		
1 流動負債 未払金 前受金 預り金	4,384,087 750,000 191,325	
流動負債合計 ...③		5,325,412
2 固定負債 長期借入金	0	
固定負債合計 ...④		0
負債合計 ③+④		5,325,412
B-2 正味財産の部		
前期繰越正味財産額 当期正味財産増減額		2,164,811 12,904,124
正味財産合計		15,068,935
[B] 負債及び正味財産合計 [B-1]+[B-2]		20,394,347

役員

理事長 湯浅 誠（社会活動家/東京大学特任教授）

理事 藤田 淑子（一般財団法人社会変革推進機構）
釜池 雄高（子ども食堂ネットワーク事務局長）

監事 稲村 有人（弁護士）

むすびえについて

About "musubie"

ロゴに込めた思い



私たちは、「地域ににぎわいをつくりたい。そして、そこからこぼれる子どもをなくしたい」という思いで、全国こども食堂支援センター・むすびえを設立しました。その思いを少しでも共有してくださる方が、ここで結び会って欲しいという思いを込めて「むすびえ（結び会）」と名付けました。

むすびえのロゴには、「こども食堂」「こども食堂の支援者」「未来の子どもたち」が結ばれ、彩のあるやさしい未来をつくりたいという思いを込めています。

むすびえとSDGs



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月に国連加盟国193カ国が全会一致で採択した行動計画。貧困や福祉、持続的なまちづくりなど17の目標からなり、2030年までに目標を達成することを目指しています。

むすびえでは、SDGsが掲げる17の目標のうち、6つに貢献します。



(ご参考) 湯浅誠「孤立する人のいない“にぎわい”をつくる こども食堂とSDGs」
<https://news.yahoo.co.jp/byline/yuasamakoto/20190409-00121364/>

むすびえを通じて、こども食堂支援の輪にご参加下さい！

● 寄付で参加する

クレジットカード、振込、古本、Tポイント、遺贈によるご寄付など多様な方法があります

● むすびえボランティアになる

プロジェクトリーダー、イベント運営などのプロボノ・ボランティアを募集しています

＼ 詳細はHPへ！ ＼



NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ

〒151-0053 東京都渋谷区代々木二丁目12番2号こども食堂ネットワーク内

TEL 03-4213-4295

E-mail kodomo@musubie.org

Webサイト <https://musubie.org/>

むすびえ

検索

こども食堂、むすびえに
関する情報を
ほぼ毎日更新中！

